



図一66 津波浸水想定図 佐々港（佐々町）、佐世保港（佐世保市）

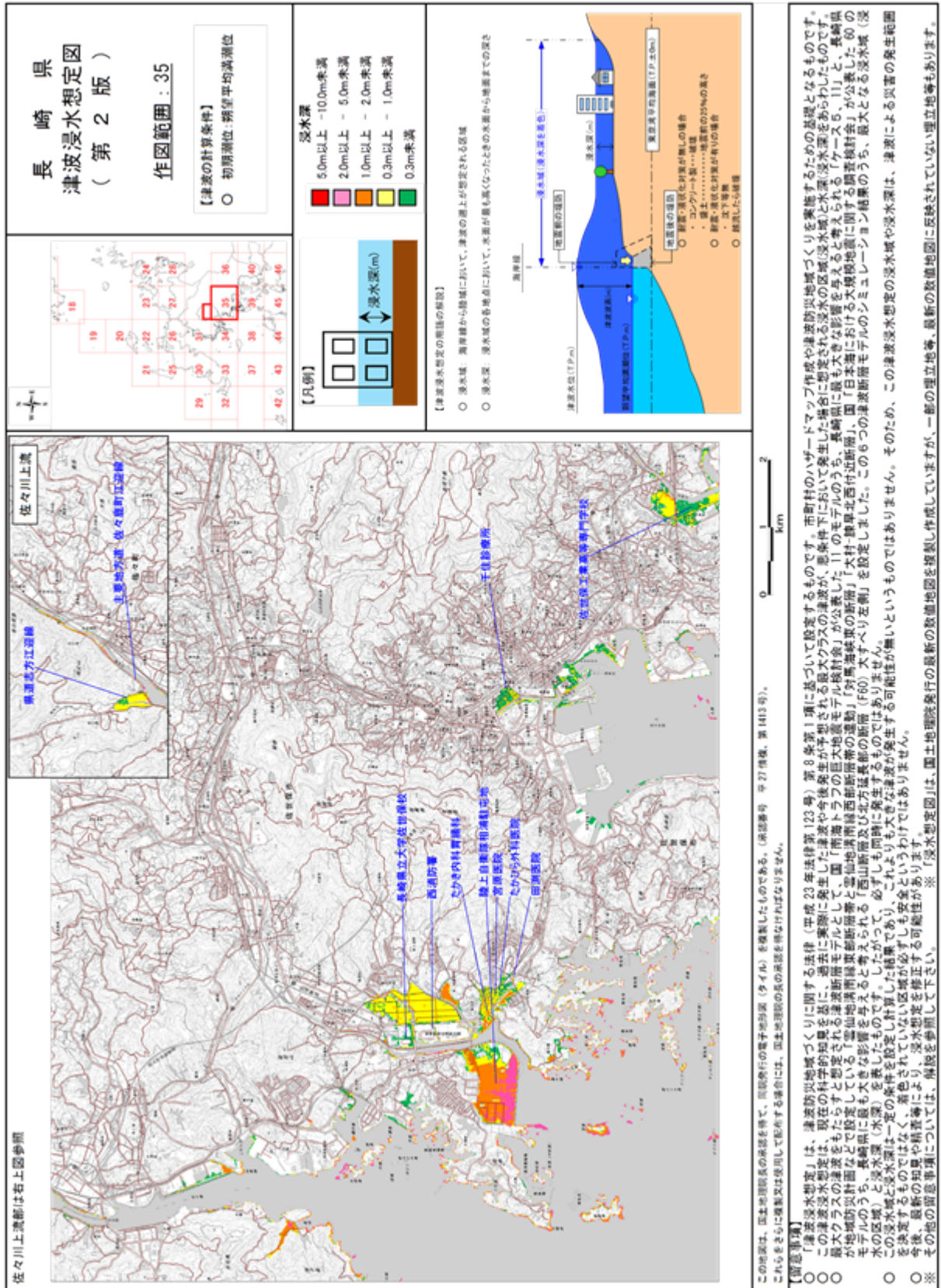






図-68 津波浸水想定図 彼杵港（東彼杵町）

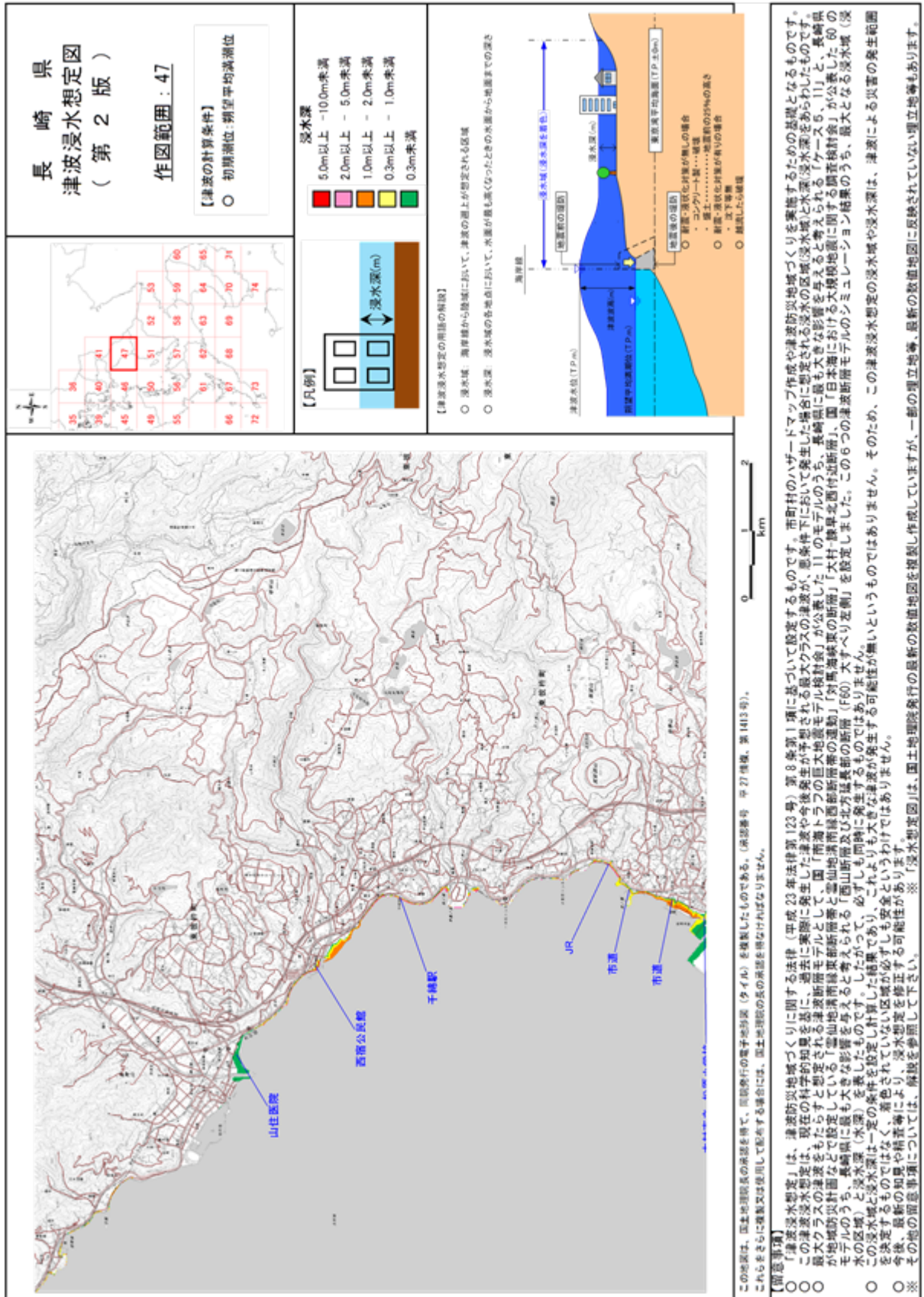




図-69 津波浸水想定図 大村港（大村市）

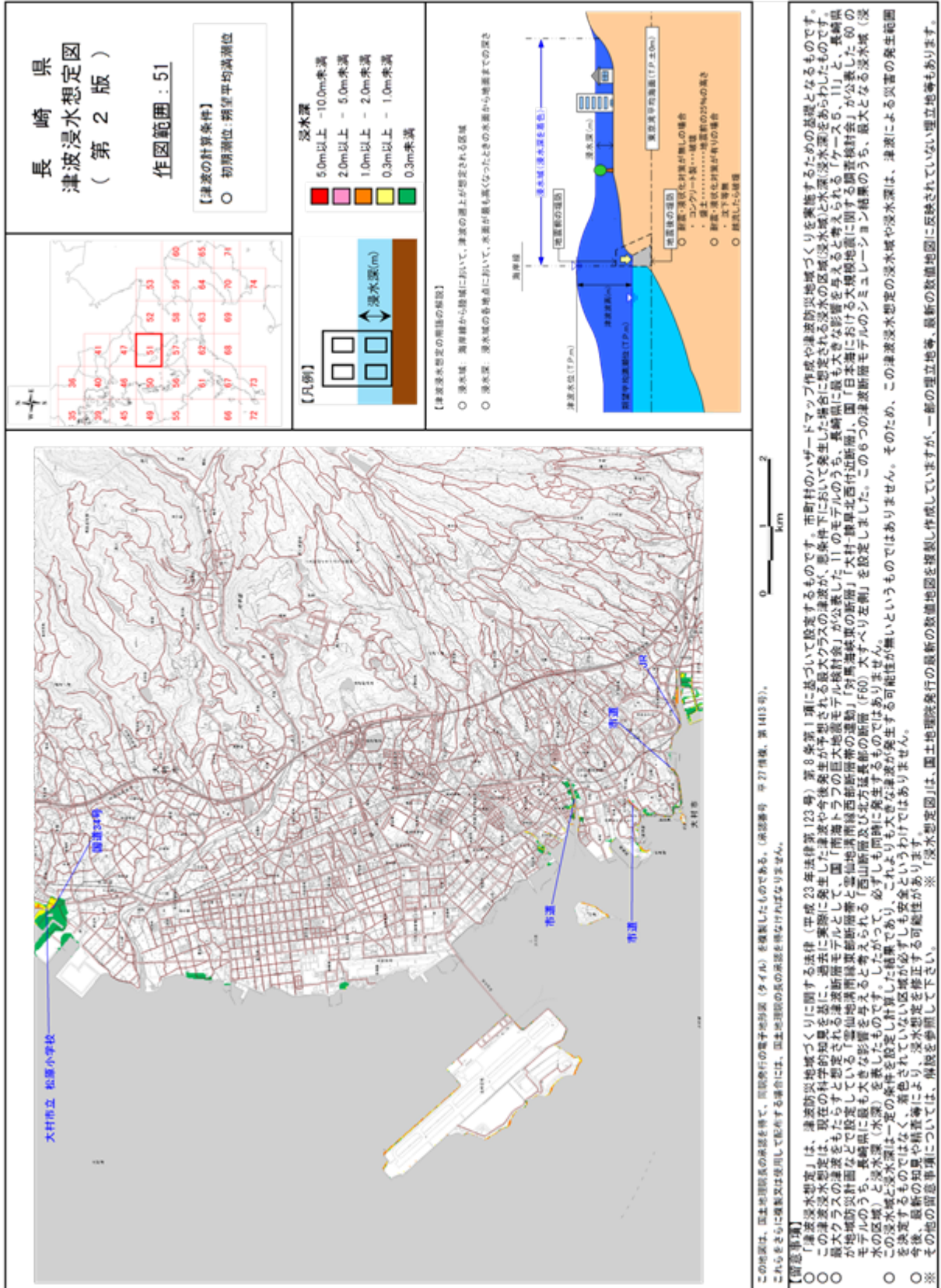






図-71 津波浸水想定図 小長井港（諫早市）

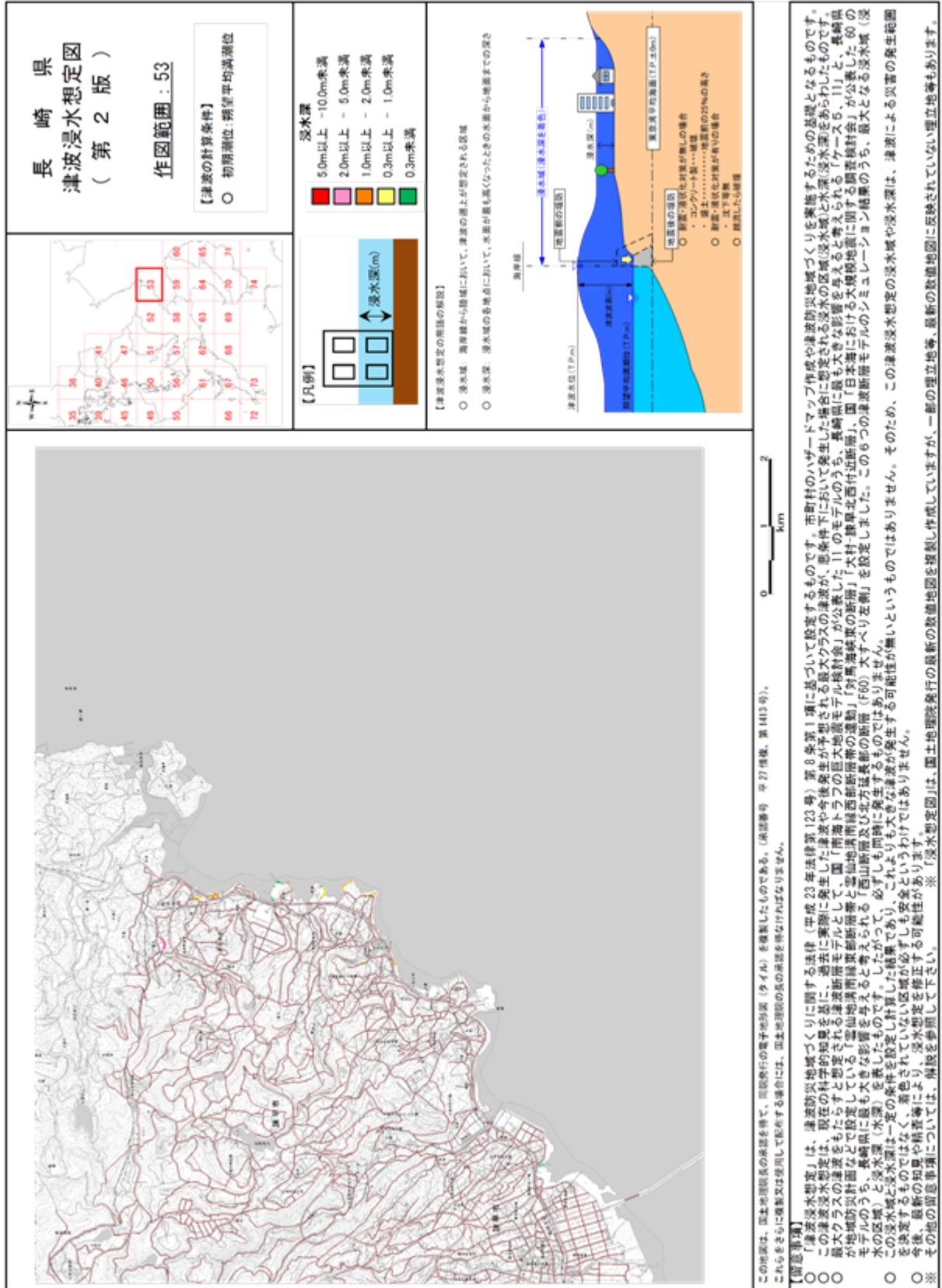


図-72 津波浸水想定図 多比良港（雲仙市）

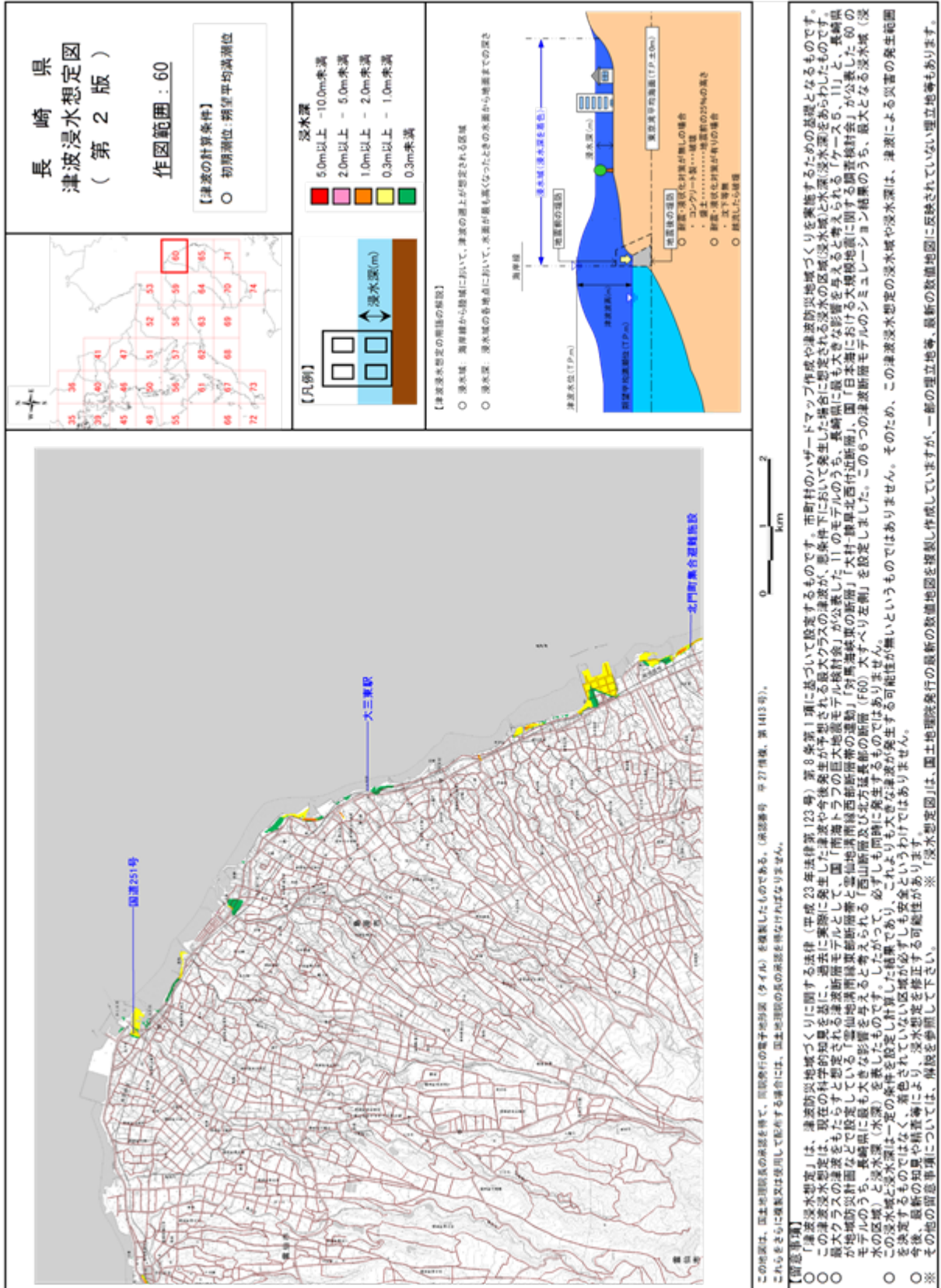












図-76 津波浸水想定図 小浜港（雲仙市）

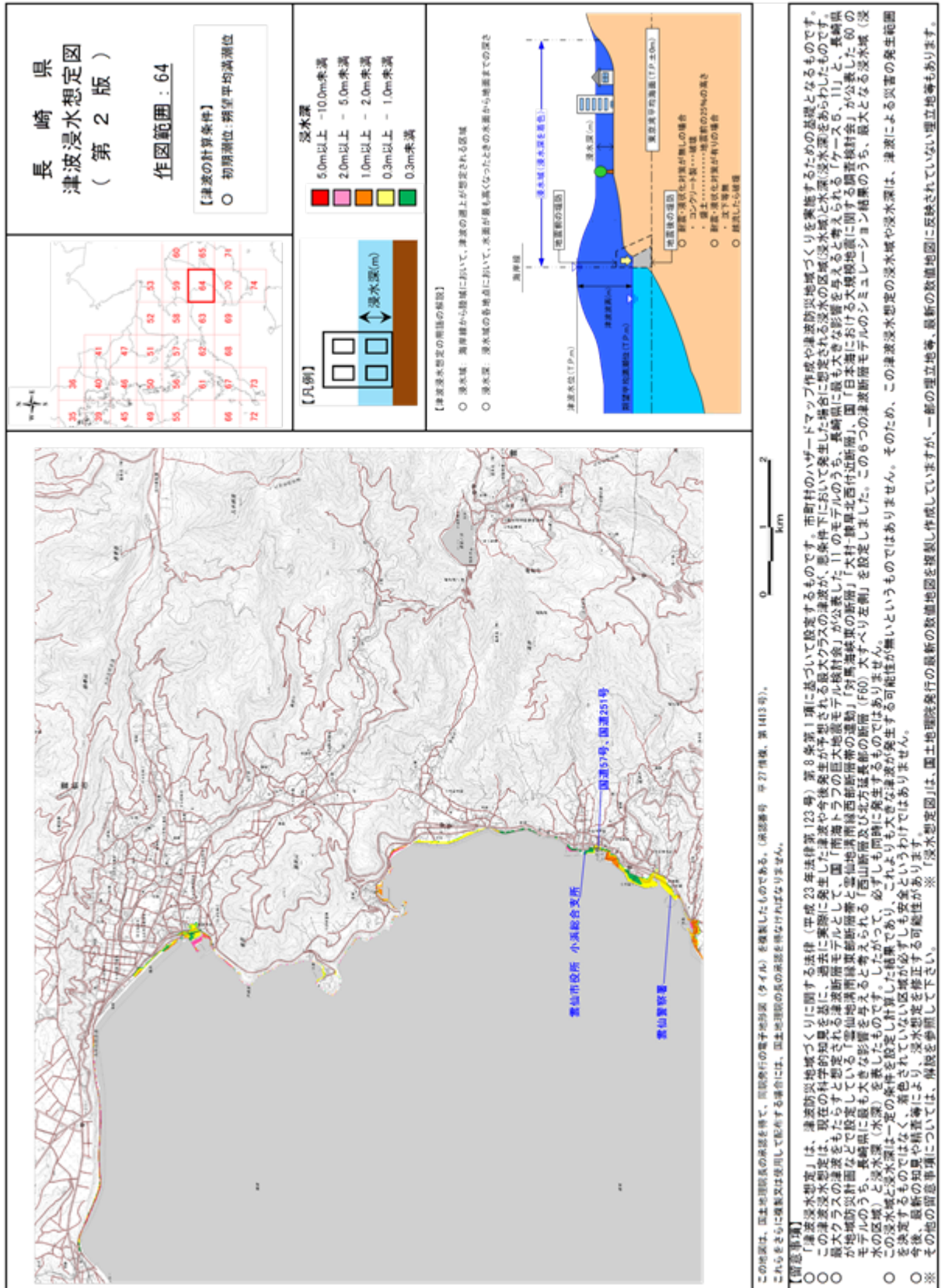




図-77 津波浸水想定図 有喜漁港（諫早市）

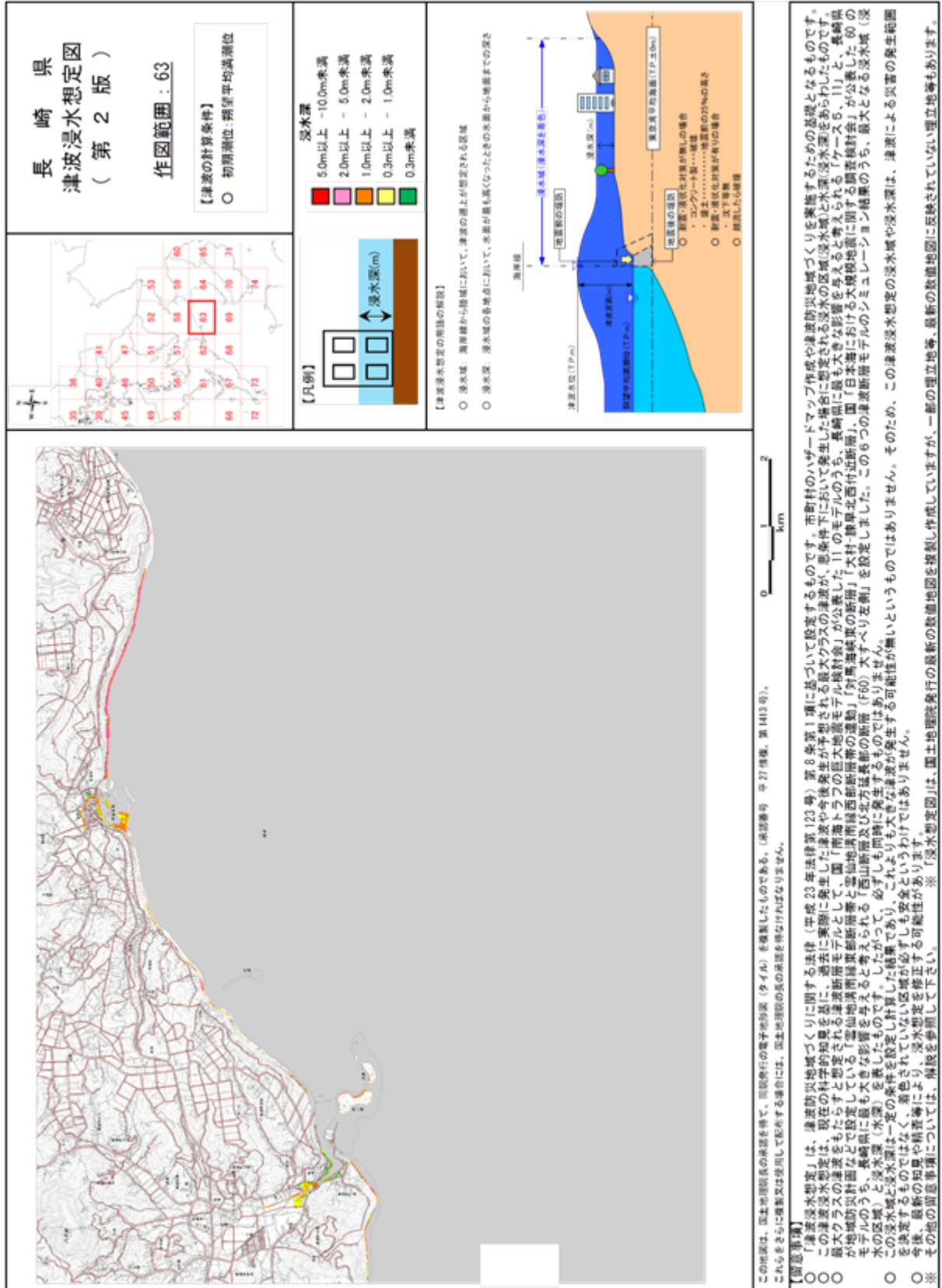


図-78 津波浸水想定図 長崎港（長崎市）

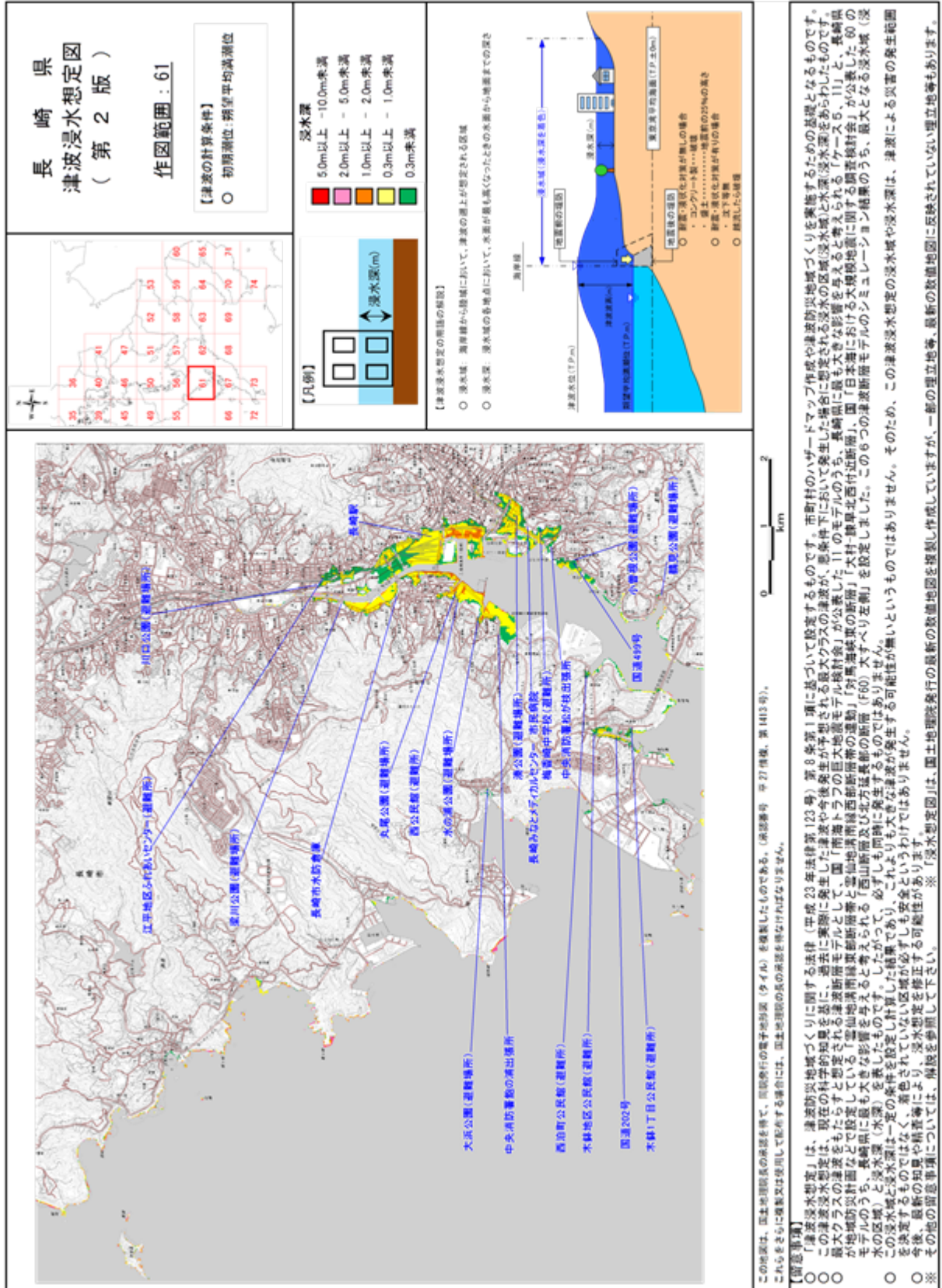
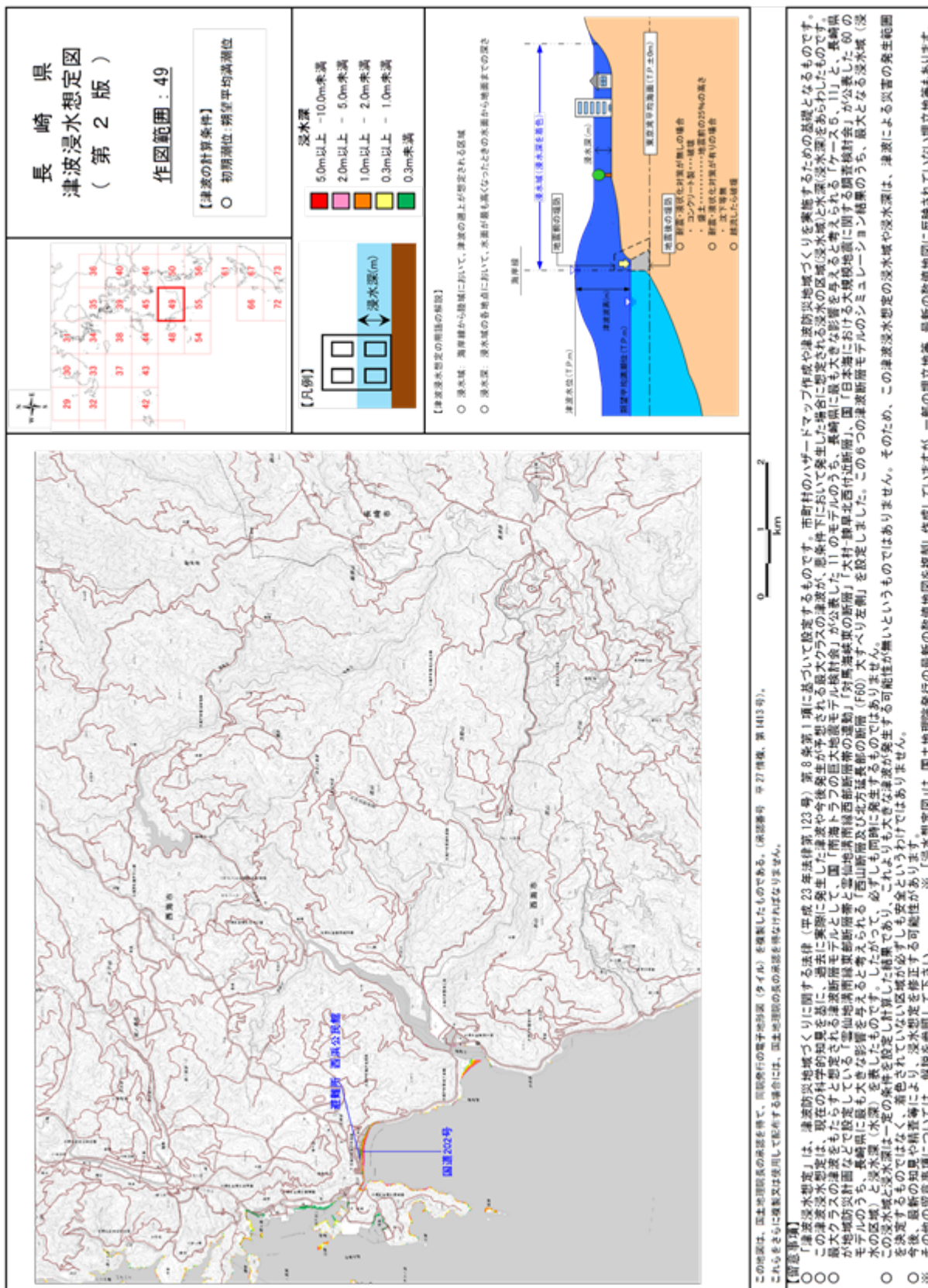




図-79 津波浸水想定図 瀬戸港（西海市）



この図表は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地図表（タイトル）を複製したものである。（承認番号 甲 27 情後、第 1413 号）。

これらとともに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

【留意事項】

- 「津波浸水想定」は、津波防犯地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するものです。市町村のハザードマップ作成や津波防犯地域づくりに実施するための基礎となるものです。
- この津波浸水想定は、現在の科学的知見を基に、過去に発生した津波や今後発生が予想される巨大地震の津波が、豊後沖下において発生した場合に想定される浸水域（浸水域）と津波浸水深をあらわしたものです。
- 巨大地震クラスの津波を想定している津波断層帯は、国「南海トラフの巨大地震モデル検討会」が公表した「1」のモデルのうち、長崎県に最も大きな影響を及ぼすと考えられる「対馬海峽西部断層帯」と豊後沖断層帯とを想定し、豊後沖断層帯及び北方延長部の断層（F60）「大すべり左断層」を設定しました。この6つの津波断層モデルのシミュレーション結果のうち、最大となる浸水域（浸水域）のうち、長崎県に最も大きな影響を及ぼすと考えられる「対馬海峽西部断層帯」と豊後沖断層帯とを想定し、豊後沖断層帯及び北方延長部の断層（F60）「大すべり左断層」を設定しました。この6つの津波断層モデルのシミュレーション結果のうち、最大となる浸水域（浸水域）と津波浸水深は、一定の条件を想定し計算した結果であり、必ずしも同様に発生するものではありません。そのため、この津波浸水想定は、浸水域や浸水深は、津波による災害の発生範囲を決定するものではありません。着色されていない区域が必ずしも安全というわけではなく、浸水深を修正する可能性があります。
- 今後、最新の知見や調査等により、浸水想定を修正する可能性があります。 ※ 「浸水想定図」は、国土地理院発行の最新の地図表を複製し作成していますが、一部の埋立地等、最新の地図表に反映されていない埋立地等もあります。

図-80 津波浸水想定図 小値賀港（小値賀町）

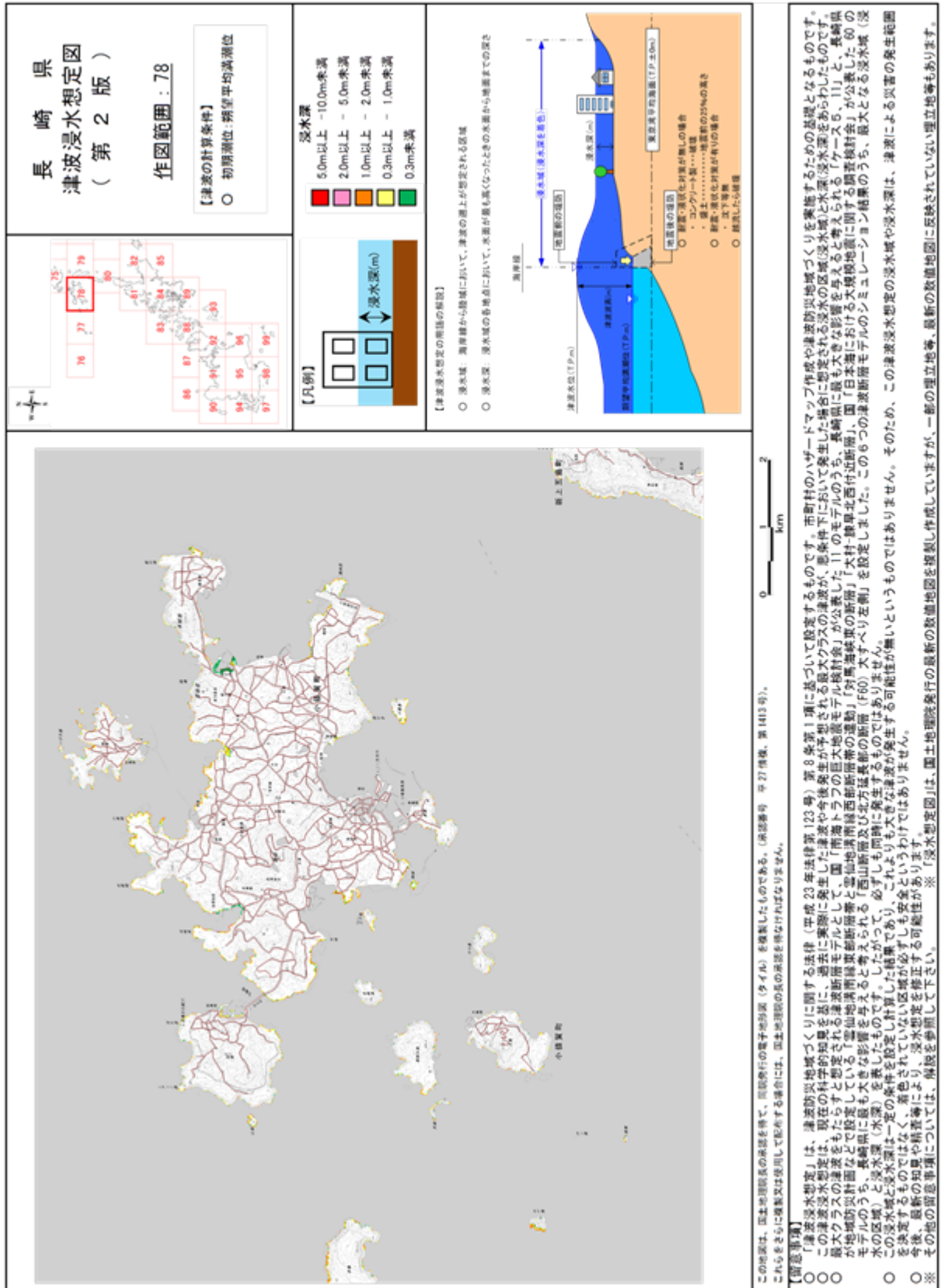












図-84 津波浸水想定図 富江港 (五島市)

